

D X 推 進 監 情 報 政 策 課

1 行政情報化の推進

- (1) 住民情報システムの運用支援を行った。主なシステムは次のとおり。
 - ア 住民情報システム全般に係る運用支援
 - イ 各課情報システム全般に係る運用支援
 - ウ その他、基幹業務システムで処理できない業務への対応
- (2) 介護認定進捗確認システム導入支援を行った。
- (3) マイナンバー制度における情報連携を適正に運用するよう支援を行った。
- (4) 全庁LANシステムを運用した。
- (5) 市立保育園のネットワークシステム運用支援を行った。
- (6) 市立保育園の業務支援システム及びWi-Fiの運用支援を行った。
- (7) 鳥取県と県下19市町村が共同運用する鳥取県自治体ICT共同化推進協議会で、行政イントラシステム及び電子申請システム（令和7年度、公開手続数は496手続）を利用した。
- (8) 情報セキュリティ強化対策事業として、次の事務作業を実施した。
 - ア 住基系端末のICカード認証システムを運用した。
 - イ 住基系端末からのデータ持ち出し管理システムを運用した。
 - ウ インターネット系システムを運用した。
 - エ メールセキュリティシステムを運用した。
- (9) 統合型GISの市民公開を推進した。
- (10) スマート窓口とふれあいの里、糺町庁舎間のビデオ通話の運用支援を行った。
- (11) 市民の利便性向上、職員の事務軽減を目的に市民向けAIチャットボットを運用した。
- (12) ペーパーレス会議用タブレット端末の運用支援及び本庁舎無線アクセスポイントの運用を行った。
- (13) 基幹業務システム標準化を推進した。
- (14) 米子市デジタル・トランスフォーメーション推進計画に基づいてデジタル化等を進めた。
- (15) 職員向けデジタル人材育成研修を開催した。（計19回：管理職向け3回、担当者向け16回）
- (16) 全庁系PCへのMicrosoft365導入を行った。

2 地域情報化の推進

- (1) デジタルデバйд対策として、次の取組を実施した。
 - ア スマホよろず相談会（6会場、28回）を開催した。
 - イ 市民向け詐欺対策講座を開催した。
 - ウ 米子市公式SNSを通じて、特殊詐欺・ネット詐欺対策に係る周知啓発のための情報発信を行った。
- (2) 市が主催するイベント等で市民参加を促進するために、参加者にJ-Coin Payのポイントを付与する事業を実施した。
（22イベントで活用）

(3) 米子市ヘルスケアプラットフォーム事業

米子市、市内4病院（鳥取大学医学部附属病院、山陰労災病院、米子医療センター、博愛病院）及び民間事業者で組織する「一般社団法人日本ヘルスケアプラットフォーム」において事業を運用し、以下のサービスを提供した。

サービス名	主な機能	利用・登録状況	主な利用機関
紹介統合 WEB システム「TRiP」	診療予約・紹介状送付、行政文書オンライン送受信	約 350 施設	市内 4 病院（鳥取大学医学部附属病院、山陰労災病院、米子医療センター、博愛病院）、鳥取県西部を中心とする医療機関等
統合カルテシステム「トリカル」	診療情報共有	約 300 名（利用医師数）	市内 4 病院（上記 4 病院）
転院調整・空床管理システム「トリラボ」	転院調整・空床管理、介護連携機能	約 60 施設（試行含む）	市内 4 病院（上記 4 病院）、島根県東部から鳥取県中部の 14 病院、介護施設等
アプリ「とりりんりん」	地域共通デジタル診察券、地域・行政情報	約 30,000 名（登録者数）	市内 4 病院（上記 4 病院）、米子市
米子市フレイル予防アプリ	フレイル度チェック	16,079 件（累計ダウンロード数）	米子市